

2026年度

Livedo オンラインセミナー

講師紹介



安藤 亘(あんどう わたる)氏

ビヨンドザボーダー株式会社 代表取締役
社会福祉士・精神保健福祉士事務所
「iさぽーとステーション」代表

社会福祉士・精神保健福祉士。
早稲田大学人間科学部を卒業し(株)リクルートに入社。その後メンタルヘルスの分野へキャリア変更し、埼玉県地方公務員として埼玉県立精神保健福祉センター相談員、県立精神科病院ソーシャルワーカー、保健所の精神保健福祉相談員等、メンタルヘルスに関する様々な相談援助活動の経験を重ねる。
現在は、メンタルヘルスに関する様々な講演会や研修会の企画・運営、講師等つとめている。

紹介ムービー



井口 健一郎(いぐち けんいちろう)氏

社会福祉法人小田原福祉会 理事
特別養護老人ホーム潤生園 施設長

大学院卒業後、小学校教員を経て、2009年社会福祉法人小田原福祉会に入職。
大学での非常勤講師や学会での理事を務める傍ら、FMおだわらでは介護に関わる様々な疑問・お悩みを実例に基づいた回答とアドバイスをする「市民を介護で困らせない ミンナの介護」のパーソナリティも務め、社会貢献活動にも精力を注いでいる。
社会保障審議会福祉部会委員。

WOWOWドラマ「正体」では介護監修者として介護指導に携わる。



石井 洋介(いしい ようすけ)氏

医療法人社団おうちの診療所 おうちの診療所 中野院長
株式会社omniheal 代表取締役

自身が病気のため19歳で大腸を失うも、命を救われた経験から医師に憧れ、消化器外科医となる。大腸がんの手術などを多数行う中で、早期受診の難しさや、患者への情報提供の必要性を感じ、大腸疾患普及啓発のための日本うんこ学会を設立。スマホゲーム「うんコレ」を開発した。現在は在宅医として活動し、癌診療や排泄ケアに関する講演も多数行う。著書に「便を見る力」など。

高知大学デジタルヘルス学講座特任准教授、デジタルハリウッド大学大学院特任助教を務めるなど、多岐に渡り活躍中。



印田 宏子(いんだ ひろこ)氏

東京医療保健大学 感染制御学教育研究センター
感染制御実践看護学講座 客員准教授
感染管理認定看護師

国立呉病院付属看護学校を卒業後、約17年間にわたり国立病院で看護師として勤務。その間、看護師長として手術室や中央材料室の管理を担当。2002年、社団法人日本看護協会 感染管理認定看護師の資格を取得し、病院の感染管理担当者として活動。2017年、千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程を修了し看護学博士を取得。

現在は企業で学術業務に従事し、外部の感染制御実践看護師の教育にも携わり活躍中。



浦田 克美(うらた かつみ)氏

医療法人財団松圓会 東葛クリニック病院 看護師
皮膚・排泄ケア特定認定看護師

東京警察病院看護専門学校卒業後、2007年に日本赤十字看護大学看護実践・教育・研究フロンティアセンター認定看護師教育課程皮膚・排泄ケアコース卒業。2008年、皮膚・排泄ケア認定看護師資格取得。2009年、おむつフitter3級取得。2017年、特定行為研修(創傷管理分野)修了。

ケアレベルの底上げを目指し、松戸褥瘡ケアフォーラムを立ち上げ活動。YouTubeで、褥瘡やおむつケアの動画を配信。



小山 聡子(おやま さとこ)氏

東京家政大学 人文学部 教育福祉学科 教授、女性未来研究所副所長

日本女子大学名誉教授。
日本女子大学を卒業後、途中北米留学を挟みつつ3か所の障害児者施設で足かけ13年間勤務。1996年4月より日本女子大学人間社会学部社会福祉学科にて教育と研究に携わり、2025年3月に定年退職、同年4月より東京家政大学人文学部教育福祉学科に勤務。
同志社大学にて博士(社会福祉学)の学位取得。

障害福祉及びソーシャルワークの理論と方法を専門とする。



香川 寛(かがわ ゆたか)氏

特定非営利活動法人リハケアリングネットワーク 理事長
一般社団法人日本重度化予防ケア推進協会 理事長

作業療法士。介護保険事業、コンサルティング事業、セミナー事業を運営。ポジショニング、シーティング、ノーリフティングケアを中心に福祉用具の活用法、重度化予防のためのケア技術など年間200回以上の研修・セミナーを開催。

法人の理念は、『歳をとっても、障害があっても「自分らしい暮らし」が保障される「尊厳のあるケア」が当たり前な地域・社会の実現に尽力する』

現場に寄り添い、介護される方の思いも汲み取り、事例を交えながらの講義で定評がある。



梶川 義人(かじかわ よしと)氏

日本虐待防止研究・研修センター 代表
桜美林大学 兼任講師

20年間、特別養護老人ホームなどの介護施設で勤務し、処遇困難事例、家族問題担当ソーシャルワーカーとして働く。その後、特別養護老人ホームの業務アドバイザーを約10年間務める。大学の非常勤講師、自治体の高齢者虐待防止に関する委員会の委員、事例対応のスーパーバイザーを務めるとともに、複数の自治体等の社会福祉審議会委員も兼任。

人生をかけて障がい者・高齢者の虐待問題の解決に尽力されている。



菊地 雅洋(きくち まさひろ)氏

北海道介護福祉道場あかい花 代表
あかい花介護オフィス CEO

北星学園大学文学部社会福祉学科卒業。社会福祉士、介護支援専門員等の資格を保有。社会福祉法人の理事・総合施設長を経て、現在は日本各地から講師として招かれ、介護サービスやケアマネジメントまで多岐にわたって講演活動を行っている。ブログの「介護・福祉情報掲示板」「masaの介護福祉情報裏版」は閲覧者数が多数で人気が高い。

『人を語らずして介護を語るな』『きみの介護に根拠はあるか～本物科学的介護とは』などの著書も長く人気がある。



小濱 道博(こはま みちひろ)氏

小濱介護経営事務所 代表
C-MAS 介護事業経営研究会 最高顧問

日本全国の事業所等で介護経営支援を手がけている。介護事業経営セミナーの講師実績は、北海道から沖縄まで全国で年間250件以上。また、事業所のみならず全国の介護保険課、各協会、社会福祉協議会、介護労働安定センター等の主催講演会での講師実績も多数ある。

常に変動する介護保険制度情勢の三步先を読むセミナーの企画・運営に定評がある。



小林 香織(こばやし かおり)氏

一般社団法人コグニティブ・サポート 代表理事
ベストワン株式会社 代表取締役

心理学を応用した介護事業コンサルティングに定評がある。全国の介護保険施設にてBCP作成コンサルティングを実施し、最大拠点120箇所を有する医療介護法人のBCP作成実績がある。セミナー講師としても活躍しており、BCP講座、感染症対策等をテーマに介護施設の個別研修、個別指導を手がける。機器を一切使わずに自重でリハビリに取り組み、多くの利用者に結果が出ている「共生型リハビリ特化型デイサービス」を運営。

BCPやLIFEに関する著書を多数出版しており、分かりやすく使いやすいと評判を得ている。



高野 龍昭(たかの たつあき)氏

東洋大学 福祉社会デザイン学部 教授

社会福祉士・介護支援専門員の資格を有す。
1964年1月 島根県生まれ 龍谷大学文学部社会学科社会福祉学専攻を卒業後、1986年から島根県と広島県で医療ソーシャルワーカーやケアマネジャーとしての実践にあたる。2005年からは東洋大学で介護福祉・社会福祉専門職の養成教育と介護政策・システムやケアマネジメントの研究に従事する。介護保険制度の動向と介護従事者・高齢者へのその影響に研究的関心をもつ。

経済的に困窮な高齢者の介護サービスにおける問題に関心を持ち、養護老人ホームを対象とした調査・研究も行っている。



高山 彰彦(たかやま あきひこ)氏

一般社団法人幸せ介護創造ファクトリー 代表理事

保健体育教員資格、社会福祉士、介護支援専門員、社会福祉学修士。社会福祉法人等でケアワーカー、生活相談員として勤務。教員を経験後、大手介護事業所において社内研修体制の整備や社内認定試験を導入し、キャリアパス制度を構築。運動生体力学をベースとした介護技術を考案し、年間200件以上のセミナーを実施。介護保険制度導入前から在宅サービス統括責任者として、当時ではまだ地域になかった様々なサービスを先駆的に創設し、地域市民や関係機関の駆け込み寺として活動。

「介護される人も 介護する人も 大切にしたいあなたのための介護技術」など多数の著書やDVDを出版。



寺川 あづさ(てらかわ あづさ)氏

保健・医療・福祉サービス研究会 教育事業部
接遇・ヒューマンスキル指導講師
キャリアコンサルタント

フリーアナウンサーとしてテレビ・ラジオのレポーターや式典・シンポジウム・記者発表会などの活躍と同時に、研修講師として後輩の育成や企業における接遇教育を手掛ける。自身の病気による入院・手術をきっかけに都内がん専門病院に勤務し、総合案内リーダーとして勤務する傍ら、院内のスタッフ・新入職者の接遇教育を担当する。

2014年には勤務病院において年間優秀職員賞を受賞。



長谷川 洋(はせがわ ひろし)氏

長谷川診療所 院長 精神科医 精神保健指定医
日本老年精神医学会専門医
日本精神神経学会専門医

聖マリアンナ医科大学東横病院精神科主任医長を経て、2006年に長谷川診療所を開院。地域に生きる精神科医として小児から高齢者まで、さまざまな精神疾患の治療とケアに従事。聖マリアンナ医科大学・東京医療学院大学非常勤講師、川崎市精神科医会監事、神奈川県精神神経科診療所協会副会長などを務める。

認知症専門医の第一人者で、自らが認知症になったことを公表した故長谷川和夫氏のご長男。



蜂谷 英津子(はちや えつこ)氏

HOTシステム株式会社 代表取締役
待遇アドバイザー 福祉人材育成コンサルタント
産業カウンセラー 終活ライフケアプランナー

大手デパートや外資系ホテルのVIPゲストの接客を経て、大手介護企業で介護職の人材育成に従事。2010年HOTシステムを設立。ホスピタリティ講座や接遇マナー研修、クレーム対応、マナーリーダー養成講座など、多くの公益法人や大手企業にて研修の講師を務める。多くの福祉職向けの書籍や雑誌記事の執筆や監修、教育用DVDの監修も行っている。

福祉職のための研修は、内容や事例が福祉現場に即しており「分かり易くて現場ですぐに実践できる」と定評がある。



林 正(はやし ただし)氏

合同会社キャリアワークス 代表
一般社団法人介護コンソーシアムベトナム 理事

特別養護老人ホーム相談員歴30年、施設、地域ケアマネジメントにあたる。介護保険制度施行時より介護支援専門員研修講師。東京都、神奈川県介護支援専門員専門Ⅰ、Ⅱ研修講師。2023年8月専門職のキャリアと人生サポート、研修、教育施設運営コンサルティング、居宅支援事業等を行う合同会社「キャリアワークス」を設立。2024年5月に特定技能外国人受け入れ紹介事業等を行う、介護コンソーシアムベトナムの理事に就任。

介護報酬加算、運営基準等の研修を実施。加算、運営基準解釈のエキスパートとして多くの法人運営をサポートしている。



日向 司(ひなた つかさ)氏

株式会社ひなた 代表取締役

近畿大学卒業後、大手保険会社にてリスクマネジメントおよび顧客対応の実務経験を積み、ビジネスの基礎を習得。2008年より外国人技能実習事業に本格的に参入し、2018年5月に「株式会社ひなた」を設立。千葉県を拠点に、登録支援機関として特定技能人材と受け入れ企業をワンストップで支援している。人材不足に悩む多くの企業に対し、適切な人材を派遣するとともに、さまざまなトラブルにも迅速に対応し、確かな信頼を築いてきた。

専門性と、現場に即した実践的な支援により、企業と人材の双方が安心して取り組める環境を実現している。



本間 久恵(ほんま ひさえ)氏

地域口腔サポート 歯ブラシとスプーン 代表
歯科衛生士

介護支援専門員、介護予防指導士、福祉用具専門相談員の資格を保有。

1984年に歯科衛生士免許を取得後、歯科診療所、保健福祉センター、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、重度心身障害児者通所施設勤務を経て、2010年より訪問歯科診療に従事。在宅への訪問口腔衛生指導、居宅療養管理指導実績は1万回以上。2019年6月より現職。

地域密着型フリーランス歯科衛生士として活躍中。



松永 早苗(まつなが さなえ)氏

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター
実践研究担当課長 兼 保健福祉学部准教授
感染管理認定看護師

1996年大阪府三島救命救急センターに勤務、2000年青年海外協力隊にてパラオ共和国へ派遣される。2006年感染管理認定看護師を取得し、臨床を経て看護大学の教員となり、2021年から現職。

神奈川県感染対策チーム(K-ICT)、国際緊急援助隊感染症対策チーム、一般社団法人日本国際看護学会代議員として活動。

あらゆる角度から感染症を研究しスペシャリストを育成しながら、地域貢献活動にも力を入れています。



眞鍋 哲子(まなべ てつこ)氏

株式会社ONMUSUBI 代表取締役

看護学校卒業後、総合病院に勤務。外科、整形外科、内科、精神科等を経験し、2002年より高齢者施設にて勤務。施設看護師や介護職の仕事にやりがいがある形をつけたい、介護福祉医療分野を盛り上げたいと講師業やイベント等で活躍。

2024年7月に看護(医療)と介護(福祉)の思いを繋ぐ会社として株式会社ONMUSUBIを設立。現在、高齢者施設のコンサルティングや教育に力を入れている。

福岡市南区若久では、「誰一人取り残さない地域共生」の実現を理念に地域の居場所づくりにも関与。



宮下 公美子(みやした くみこ)氏

介護福祉ライター

社会福祉士・公認心理師・臨床心理士

早稲田大学卒業後、(株)リクルート勤務を経てフリーライターに。介護保険開始前年より介護分野での取材を開始し、社会福祉士の資格を取得。介護認定調査員、介護サービス苦情相談員などを経て、現在は認知症高齢者2人の成年後見人を務める。その後、臨床心理士、公認心理師の資格を取得。特別養護老人ホームの心理相談員を経て、現在は神経内科クリニックで週1回心理士として勤務。川崎市高齢者・障害者施設従事者等虐待防止に係る検討会委員。

介護現場のハラスメント対策やメンタルヘルスケアを中心に講演、研修講師も行っており、全国で活躍中。